Nishitokyo City
西東京市 議会だより

第14号
平成16年2月5日
（2004年）

〒188-8666 西東京市南町5-6-13　0424-64-1311　編集／議会報編集委員会　発行／西東京市議会



平成15年
第4回
定例会

平成14年度 各会計決算を認定

―補正予算など29議案を可決―

定例会のあらまし

第4回定例会は、12月1日から16日まで16日間の会期で開催しました。

一般質問は、27人により3日間行いました。

今定例会に市長から提出された議案は「西東京市組織条例の一部を改正する条例」等19件で、18件を可決、1件を承認しました。また、諮問のあった「人権擁護委員の候補者の推薦につき同意を求めることについて」（2件）は、「諮問のとおりで異議ない」旨答申しました。

さらに、第3回定例会で付託された継続審査中の決算議案8件については、閉会中に決算特別委員会で審査し、今定例会ですべて認定しました。

皆様から提出された請願・陳情は、「小学校の副読本に「非核・平和都市宣言」「市民憲章」を掲載するよう求める陳情」等12件で、1件は取り下げられ、継続審査中の6件を含めて各委員会で審査し、4件を採択（趣旨採択3件）、7件を不採択、6件を継続審査としました。

議員提出議案は「障害者ホームヘルプサービスの利用増加に見合う予算確保を求める意見書」等5件で、すべてを可決し、関係機関に送付しました。

最終日には、西東京市市民憲章と市歌（大好きです、西東京）の制定、市の木（けやき、はなみずき）、市の花（つつじ、ひまわり、コスモス、すいせん）の指定について、（仮称）合併記念公園の名称（西東京いこいの森公園）の決定について等の報告がありました。

紙面の紹介

一般質問……2面～6面
常任委員会の主な審査状況……6面
決算・予算特別委員会の主な審査状況……7面
意見書、議案の議決結果、請願・陳情の結果、編集後記……8面

議会日誌（平成15年10月～12月）

10月
6日　会派代表者会議
20日　議会報編集委員会

11月
12日　決算特別委員会
13日　決算特別委員会
17日　決算特別委員会
19日　決算特別委員会
26日　議会運営委員会、駅周辺再開発等特別委員会

12月
1日　第4回定例会・本会議（閉会中委員会審査報告、議案等上程～議決・付託）、予算特別委員会、議会報編集委員会
2日　本会議（一般質問）
3日　本会議（一般質問）
4日　本会議（一般質問）、議会運営委員会
5日　企画総務委員会、厚生委員会
8日　文教委員会、建設環境委員会
9日　予算特別委員会、会派代表者会議
10日　予算特別委員会
11日　駅周辺再開発等特別委員会
16日　本会議（委員会審査報告、議員提出議案上程～議決）、議会運営委員会、厚生委員会
17日　全員協議会

声の議会報をお届けしています。 お知り合いの方でご希望される方がいらっしゃいましたら中央図書館（☎65-0823）へお問い合わせください。

西東京市 議会だより

凡例
西東京市議会公明党（公明）　民主党西東京（民主）
日本共産党西東京市議団（共産）　自由民主党（自民）
自由民主党西東京市議団（自民西）　市民クラブ（市ク）
生活者ネットワーク（生ネ）　無所属（無所属）

一般質問（1）

介護保険制度・文書作成ごみ減量について

猪野　滋（市ク）

質問　①介護保険制度の1号被保険者の保険料基本月額が12・3％アップした。また、高齢化率は15年3月の17・5％から32年には24・1％となること、介護保険費用推計では15年の75億から19年には95億円と、26％アップが推計されている。将来の負担割合をどう考えるか。保健と予防の観点から、高齢者保健福祉計画については数値目標を掲げるべきではないか。

答弁　財政安定化基金の市の負担割合引き下げを要望中。公費、保険料負担割合については社会保障審議会介護保険分科会の検討動向を注視。実施計画策定時に数値目標化を検討する。

質問　市の広報紙や各種計画書、条例・規則をつくる上での作成基準はあるのか。

答弁　基本的な事項については公文規程による。さらに「文書事務の手引き」「広報西東京編集方針」を定めている。先進的な条例・規則等の作成においては、一定の約束事があるが、わかりやすい表現に努める。

質問　りさいくる市の現状とごみ減量・啓蒙・広報活動について。

答弁　4～12月の第1日曜日に開催。募集70店舗に150の申し込みがある。来訪者は500～700人。リサイクル社会の進展に役立てたい。

保谷駅南口再開発事業等について問う

相馬　和弘（市ク）

質問　保谷駅南口再開発について「保留床処分の見通しが立たないため、市が取得し公共公益施設を配置する」案が示された。これまでの説明からの大きな方針転換である。市長は「再開発ビルへの市税の投入は納得できない」との見解であったと思うが、この間の答弁との整合性をどう考えているのか。発言の責任を明確にすべきである。


都市計画道路田無3・4・9号線（ひばりヶ丘駅南口）

市長　事業努力を続けてきたが検討の結果、判断した。旧田無都市開発㈱に保留床を取得させたことをとやかく言ったわけではない。

質問　市民嘱託員は5年で雇用打ち切りの制度である。学童クラブ指導員など経験が必要な職種のため保護者から雇用どめの撤廃を求める声が上がっている。見直す考えはないか。

市長　熱意のある方には再度選考を受けていただく。

質問　北原児童館の建てかえに早期に取り組むべき。

市長　計画の中で老朽化の激しいところから建てかえていく考えである。

質問　田無3・4・9号線が開通予定だが、南北を結ぶ道路は通学路になっている。信号機の設置など交通安全対策はどうか。

教育長　都市整備部と協議しながら、信号の設置を警察に要望している。


ひばりが丘児童館（ひばりが丘3丁目）

国民健康保険料を引き下げよ

葉原　時美（共産）

質問　深刻な不況で、市民の生活と営業は大変だ。国民健康保険の被保険者1人当たりの一般会計からの繰入額は、一昨年2万8千円だった。他市の状況と比較の上繰入額をふやし、保険料の引き下げを実施せよ。

市長　繰入金に依存しているが、独立会計という姿勢でやっていきたい。

市民生活部長　昨年の繰入額は、本市が2万5千円、羽村市が2万9千円、稲城市が3万1千円、立川市が3万4千円、三鷹市が3万9千円、福生市が3万5千円となっている。

住吉福祉会館の建てかえを

質問　福祉会館と市営住宅の建てかえは、どういう計画で進めていくのか。

市長　高齢者・障害者住宅の確保や土地の高度利用等環境の向上を図る。

企画部長　建てかえは、発達支援センター等の受け入れを基軸に検討している。


けやき小学校多目的ホール

均衡ある街づくりに高層建物の絶対高さ制限を導入せよ

高梨　功（共産）

日照が1日数時間に！

質問　工場跡地に高さ29mの高層マンションが建設された。近隣住民は日照が1日数時間という大きな影響、被害を受けている。住民の生命・健康・生活を守る上で深刻な問題だ。三鷹市等では、建築基準法や都市計画法を研究し、8階地域、11階地域など絶対高さ制限地域を設けようとしている。西東京市でも、条例制定も含めて、このような取り組みが切実に求められていると思うが。

都市整備部長　現時点ではなかなか難しい。

下水マンホールを活用した防災トイレの設置を

質問　阪神・淡路大震災から8年が経過し、その後も各地で地震が発生している。備えの一つとしてトイレ問題があると思う。相模原市で実施し、千代田区でも実施しようとしているマンホールを活用した防災トイレ設置を提案する。

市長　仮設トイレで対応。

特養ホームの待機者581名、この問題の解決策は

質問　特養ホームの増設、待機者解消は、高齢者福祉の重要な問題の一つだ。この問題で何回も質問したが、待機者はどんどん増加している。問題解決のため特養ホームの増設が必要だ。

市長　見直しの中で検討。

つくし学級のような障害学級の増設を

質問　学級増と特別支援教育での市教育委員会の基本的な考え方は。

教育長　学級増は、一部には固定学級がなくなってしまうとの受けとめ方があるが、特別支援教育と固定学級を並行していかざるを得ないので、検討委員会で協議している。

保育の充実で子育て支援を　支援費はサービス低下許すな

大川　真理（共産）

保育の現状について

質問　待機児童の状況を把握しているのか。

答弁　個々のケースは具体的にはつかんでいない。

質問　保育料が家計を圧迫すれば安心して子育てできない。保護者負担をどう考えているのか。合併時の約束を覚えているか。

答弁　受益者負担の考え方で検討すると記憶している。

意見　合併時出された冊子には「保護者負担が軽減となるよう調整する」と書かれている。この約束は3年でおしまいか。考え直すべきだ。少子化対策には子育て世代への経済的援助、保育の充実が重要ではないか。

支援費制度について

質問　支援費制度は、このままでは国庫補助金が東京で約9億6千万円も不足すると試算されている。サービス低下とならないようにすべきだ。市の考えは。

答弁　支給実態に応じた国庫補助を行うことを国に要望している。

シックスクールについて

質問　市の責任、業者の責任はどう考えているか。

答弁　経費や、瑕疵のある部分の施工について、施工業者の三井住友建設、監理業務の相和技術研究所と折衝中。

意見　化学物質の測定は多数の条件で行う必要がある。

大雨が降っても、子どもが病気になっても安心できる市に

保谷　清子（共産）

早急な溢水対策、新築家屋への浸透ます設置補助を

質問　市内には、保谷庁舎周辺や東伏見・泉小学校周辺など、せっぱ詰まった溢水地域がある。15年度に調査の予算が組まれたが、進行状況と今後の対策について問う。また、新築家屋にも、浸透ます設置の補助金を出すことを求める。

都市整備部長　現在、溢水する39カ所の現状把握と解消策について調査をしている。自区内処理を基本に整備方針を立てていく。

浸透ますは116個設置されている。新築家屋への設置補助については、要綱の内容等を考えていく。

乳幼児医療費無料化の拡充は保護者の切実な願い

質問　乳幼児医療費無料化制度は自治体によって中身が違う。東京23区のうち21区が、三多摩26市のうち4市が小学校入学前まで所得制限なく利用できる。市は、10月より3歳未満児の所得制限を撤廃したが、さらに小学校入学までの所得制限撤廃と小学校低学年まで対象を広げることを求める。全国の自治体では、高校生まで無料の例もある。

市長　東京都には拡充を、国には制度の確立を要望している。市としては、他の施策等も考えながら対応していく。

一般質問（2）

競争をあおる教育計画に反対
都の財政再建による影響　他

倉根　康雄（共産）

「教育計画(案)」は、特色ある学校づくりの推進・予算の傾斜配分や実績による配当・人事考課制度を活用した教職員の資質の向上と開発など、学校に競争原理を持ち込む意図がはっきりとあらわれており、賛成できない内容である。

質問 公費・私費負担の見直しの具体的ねらいは。

答弁 卒業対策補助金・演劇鑑賞の委託料・バスの借り上げ・修学旅行の補助金などを見直す。

質問 公民館使用料の見直しとあるが。

答弁 行財政改革大綱にある使用料・手数料の見直しの一環。

質問 東京都の第二次財政再建推進プランは、区市町村への補助金の見直し、事業の民営化や市への押しつけなどを意図しているが。

答弁 影響が市に転嫁されないよう働きかけていく。定期予防接種費補助の廃止が提案され、市民負担にするか、他の施策を廃止して市の負担とするか検討せざるを得ない。

質問 東大農場について、党市議団のアンケートでは「自然を生かした公園や農場など」が1位で75％だった。今後の対応は。

答弁 関係機関等との調整を図りながら市の方針を策定する。


芝久保公民館・図書館（芝久保町5丁目）

ゆとりある教育に逆行する
「教育改革」は撤回せよ

安斉　慎一郎（共産）

市民参加の充実を

質問 審議会などで、会長の提案に対し、賛成、反対、保留は委員の自由であることを確認するべきだ。

市長 考えていない。

中学校給食の実現を

質問 市立小中学校ＰＴＡ・保護者の会連絡会から要望書が出されている。中学校給食を求める声が強い。

教育長 外注弁当を改善する。

質問 調布市が中学校給食を計画した。

市長 弁当を持参できない子の対応をしている。

意見 調布市の例は弁当持参併用の完全給食だ。青嵐中学校から着手せよ。

「教育改革」で先生たちも子どもたちも忙し過ぎる

質問 学校週5日制、学校選択制、特色ある学校、開かれた学校、総合的な学習などの「教育改革」の中で、先生は、勤務時間内に授業の準備、テストの作成・採点、生徒の相談への対応などができない状態にある。

先生は「子どもも疲れている。特に6時間目、身体のリズムが崩れている子が多い、けがが多い、学習の率が上がらない」といっている。これが「教育改革」の実態だ。

教育長 子どもたちは慣れてくる。先生が暇であってはしようがない。

行政は十分な資料を示して
議会の審議を受けよ！

森　輝雄（無所属）

シックスクール問題

質問 都の対策委員会の報告文書は見たか。内容の紹介や審議はなかったか。

教育長 都の報告は、市の対策委員会の後だった。

質問 市の対策委員長は都の対策委員だ。話はなかったのか。都は6物質測る。市は4物質でいいのか。子どもの安全は保てるのか。

教育長 市に持ってくるかどうかは個人の問題だ。

質問 全部測るべきだ。基礎データにもなる。

教育長 測定数に限らない。都の報告は参考にしたい。

意見 いつ何を測るかの一覧表がある。開校前なのだから測ったらどうか。

調布保谷線・環境施設帯

質問 車道16ｍは変わらないとの認識の根拠は何か。環境施設帯の市の認識は。

市長 車道16ｍと理解している。36ｍ幅にしたから環境施設帯ができた。

質問 だれに聞いたのか。道路構造令上20ｍ幅では車道16ｍ4車線はつくれない。環境施設帯はつくれないものをつくるための奇策だ。

市長 勘違いかもしれない。もっと広い案もあった。

質問 初めて聞いた。どこにあったのか。

市長 記憶だ。もっと狭い話も、40ｍという話も。

意見 そんな資料はない。あるのなら示せ。


建設が進む（仮称）合併記念公園の管理施設


おもちゃで遊ぶ親子(ピッコロハウス)

安心して子育てできる街に
誰もが利用できる保育施策を！

岩越　笙子（公明）

次世代育成支援対策

質問 国は7月に次世代育成支援推進法を成立させた。従来に加えすべての子育て家庭が利用できる保育サービス、男女が子育てしながら働ける職場の整備を行う等の目的で、市町村は行動計画策定をすることになっているが取り組みは。

答弁 17年から10年間の計画が義務づけられている。

本市は16年度、現在策定中の子育て支援計画を軸に行動計画を策定していく。

保育施策の平準化

質問 公立保育園と認可外保育施設の利用料・運営コストの格差は大きい。また待機児童対策として都の研修を取り入れ、保育ママの拡充を図るべきと考えるが。

答弁 公立保育園の民営化によるコストの削減、認可外施設に対する補助・保護者への補助のあり方は、平準化に向けた検討課題である。保育ママは検討する。

リハビリテーション

質問 パワーリハビリの本市の現在の取り組みは。

答弁 プロジェクトチームをつくり検討している。

市民会館の再構築

質問 日本語講師等の養成を市で行っているが、固定的な活動拠点がない。再構築の中で考えてはどうか。

答弁 市民の意見を聞きながら検討していきたい。


ビデオルームでビデオを見る子供たち
(子ども家庭支援センター「のどか」)

安心・安全のまちづくりを！

中田　恵美子（公明）

防犯グッズの助成を

質問 昨今、治安の不安などから防犯ブザーの貸与をしている行政が多いが、本市の取り組み予定は。

答弁 現在生活安全条例の準備をしている。その中で対応していきたい。

街路灯・防犯灯について

質問 ひったくり事件等が夜間に多発している。市内全体を満遍なく明るくすべきではないか。

答弁 夜安心して通行できるまちづくりに積極的に取り組んでいく。

移送サービスの向上を

質問 武蔵野市では、13年度から地域の商店主と提携して高齢者・障害者の移送サービスを行っている。利用料がかかるが、福祉と商店街活性の観点から、当市にも導入できないか。

答弁 各商店街、商工会の意向、地域のニーズを考慮し、積極的に検討したい。

中学校給食、弁当外注方式の検証と今後の見直しを

質問 弁当外注方式の実施状況は約4％と低い、課題を調査すべきではないか。また、青嵐中建てかえに際しては、給食室が必要になった場合に施設建設が可能な設計にすべきではないか。

答弁 1月にアンケート調査を実施する。青嵐中の給食室は、転用可能な場所を確保している。

庁内に防犯係を設置し
窓口を明確にせよ！

小幡　勝己（公明）

質問 市民の安全な暮らしを守る観点で、庁内に防犯係を設置し、市民への窓口を明確にすべきではないか。

答弁 条例制定後のあらゆる事務事業を見据えて、組織についても検討する。

質問 都の緊急雇用特別基金を活用し、防犯パトロールを実施する考えはあるか。

答弁 条例制定の中で、パトロール的なものも次年度検討していく。

質問 はなみずき公園の改修を早期に実現せよ。

答弁 地域が求める改修方法を検討していく。

質問 地域コミュニティの仕組みづくりについて問う。

答弁 基本計画の実施等の中でコミュニティ検討委員会の設置を想定している。各々の目的を損なわず、連携を保つ体制を検討する。

質問 合併記念公園の今後の運営管理について問う。

答弁 市民ボランティアと市が協働で維持管理を実施していきたいと考えている。

質問 ＩＳＯ14001取得後の取り組みについて。

答弁 市の事務事業に関して一層の省資源、省エネルギーを進め環境負荷の低減を図り、率先して地域の模範となる取り組みを進める。

質問 新青梅街道北原西交差点横断歩道の安全確保を。

答弁 警察と対策について協議をしていく。

一般質問（3）

集会所の呼称、廃食油燃料化　曇らないカーブミラーなど

新井　五郎（公明）

質問　合併して3年経過しました。旧田無地域が地区会館、旧保谷地域がコミュニティセンターや市民集会所等です。混乱します。呼称の統一はできませんか。

答弁　合併以来の課題です。早い時期に統一化を進めたいと思います。

質問　廃食用油の集積所拡大と公用車への燃料化をご提言します。

答弁　回収量の増加を心がけていきます。燃料化は今後、調査研究します。

質問　もや・降雨・結露の時期です。曇らないカーブミラーの導入をご提言します。

答弁　市内に2千300基設置されています。経済性など総合的に判断していきます。

質問　最近、市税収入の落ち込みが大きく厳しい状況です。市長をトップにした市税徴収のプロジェクトをつくり、徴収率の向上に努力しませんか。

答弁　市の重要な課題です。特に不況の中では大変な課題です。全庁を挙げて徴収率の向上に努力します。


移転が決まった東大農場

注目！市の街づくり憲法　都市計画マスタープラン

桐山　ひとみ（民主）

街づくりについて

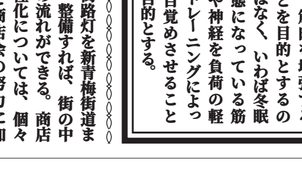
質問　都市計画マスタープランの素案が作成された。町並み形成や景観、調和の観点から、市内大規模工場跡地が準工業地域に指定されているため、高層マンション建設における地域紛争も増加傾向である。高さ制限についての検討は。

答弁　大規模事業地の機能転換がある場合には計画的な土地利用へ誘導することが望ましい。今後地区計画の導入も含め、市民合意の中で考えていきたい。

質問　南北軸である都市計画道路3・2・6号線（調布保谷線）で一部分断・寸断される地域についての居住区コミュニティ形成などを検討しているのか。また、調布保谷線で影響の出る生活道路は何路線あるのか。

答弁　調布保谷線が供用開始されたときは周辺の影響は大きいものと考える。周辺の用途地域変更も検討中。生活道路は、市道で約38本、認定外の道路が2本、都道で7本交差する。

意見　都市計画マスタープランは、道路、公園、住宅などの分野別街づくりの指針になり20年間の計画。南北軸である調布保谷線で分断されるエリアの居住区の形成や工場跡地の高さ制限の問題などをしっかり盛り込んだ計画であってほしい。


マンションが建ち並ぶひばりヶ丘駅南口付近

もう見直し!?「はなバスカード」

二木　孝之（民主）

質問　「はなバスカード」等の有効期限は、当面いつまでと考えているのか。

市長　無料乗車の扱いは、来年度からの財政効率化のため見直しを考えている。

意見　10月15日から交付を始めたばかりの、はなバスカード」等は、来年度も当然有効にするべきである。

保谷駅南口再開発について

質問　商業保留床の処分に見切りをつけ、公共公益施設を配置することが示された。配置計画案と財源計画の変更について示せ。

都市整備部長　現時点では面積や施設名は決まっていない。財源関係も示せない。

保育所の待機児解消を問う

質問　公立・私立認可保育園と認証保育所等の年齢別・月額歳出市負担を示せ。

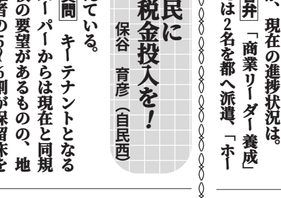
児童青少年部長　試算による概算であるが、公立保育園の0歳児は17万5千円、私立保育園の負担は公立の6割から7割。認証保育所では0歳児約6万円である。

意見　認可園と認証保育所等の比較では、市の財政負担に大きなゆとりがある。待機児解消のためにも、認可保育園と認証保育所等における保護者負担の差額を十分に埋める補助制度を。

質問　図書館事業の充実を問う

質問　公共施設に図書の返却ボックスを設置しないか。

教育長　今後検討したい。


下保谷図書館（下保谷4丁目）

魅力のあるまちづくりを！

山崎　英昭（民主）

質問　大学や工場が移転しグラウンドや森林がマンションになっていくが、西東京市の目指す町並みは。

答弁　緑の保全を基本に据えたまちづくりに努める。

質問　職住近接のまちづくりを行うべきだ。

答弁　重要だが相当困難だ。

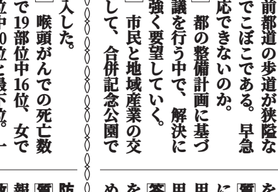
質問　新庁舎建設の是非をメリット、デメリットや影響も含めて議論すべきだ。

答弁　総合計画の中で検討を進める。

質問　住吉公民館建てかえの中で、隣接する都営住宅跡地の整備と確保が必要だ。

答弁　都と意見交換をする。

質問　隣接する泉町市営住宅の建てかえについて。


住吉福祉会館・公民館

合併評価について、市民意向調査を行うべきだ

蔵野　雅章（民主）

質問　武蔵野大学が行った合併効果に関するアンケートでは、「合併後、西東京市はよくなったか」という設問に対して、「思う、まあまあ思う」が合わせて14％という大変厳しい結果です。市の事業としても合併評価に関する市民意向調査をするべきではないでしょうか。

市長　現時点では実施は考えておりません。

質問　市役所の休日業務開設を強く要望します。

市長　土・日の窓口開設について検討を進めていく。

質問　芝久保町方面、西武池袋線以北に住民票・印鑑証明自動交付機の早期設置を要望します。

市長　これから考えさせていただきます。

質問　8月猛暑炎天下の中行われた「福祉まつり」について、11月の市民まつりとのバランスのとれた開催時期を検討できませんか。

市長　考えていかなければならないと思っております。

質問　市の児童数、共働き世帯、増加傾向にある中で、あえて学童クラブの統廃合を行う予定があるのですか。

市長　けやき学童クラブだけで入所児童数を受け入れ切れないという状況が具体的な現実となれば、既存学童クラブの存続を含めて対応策を検討する必要があると考えています。


市民まつりで人力車に乗る親子

一般質問（4）

保谷駅南口再開発　保留床をなぜ市が買取るのか

土井　節子（無所属）

質問　新市建設計画の見直しについて、都と協議中とのことだが、基本的考え方・具体的見直し内容を伺う。合併特例債は枠いっぱい使うのか。また、当初新市建設計画にある生産緑地の買い取り枠100億円は確保されるのか。

答弁　新市建設計画の理念・施策に沿って事業変更をかける。特例債は有効活用したい。生産緑地買い取り枠は総合的に判断する。

保谷駅南口再開発

質問　保谷駅南口再開発の第Ⅱ街区保留床を市が買い取ることの方針転換が示された。田無駅北口再開発ビルの管理会社への税金投入を批判していた市長がなぜ、今回、税金で保留床を買い取るのか。買い取り予定の保留床はビルの2/3の面積を占めるが、その用途も決まっていない。どうするつもりなのか。

答弁　現在、管理会社は困難な問題をクリアして、運営も順調であるとの認識だ。

保谷駅南口は、地下1階を駐輪場に、4・5階の導入施設については3月に示す。

東大農場跡地利用

市と市民が東大と積極的に交流し、市民に溶け込んだ農場施設としていくことが、国や都との今後の交渉においても重要だ。


北原交差点付近

北原交差点の交通問題とせせらぎ公園池改修について

小林　たつや（自民西）

質問　北原交差点の通行が変更されて3年以上たつが、自転車・歩行者の歩道確保がなされていない。旧バス通りを直進できるような改修を含め、市としての対応を伺う。

答弁　都・警視庁・市により検証し、中央分離帯を設置した。歩道橋は余り使われていない。今後はあらゆる観点から話し合っていきたい。北原交差点の一方通行逆走については田無署に指導強化を要請する。

意見　車両のための渋滞解消は成果を上げている。しかし、そのために地元住民が遠回りするようでは本末転倒である。市は市民のために都・警視庁等との話し合いに当たってほしい。

質問　谷戸せせらぎ公園の自由池改修について、前回の質問時、「建設段階に返り対応する」との答弁を受けたが、今後はどうするのか伺う。

答弁　自由池の改修については、早期に利用者の意見を把握し、多くの人々が憩えるものにしたい。さくについては今年度中に改修する。

意見　隣に控えている合併記念公園の管理運営を考えるとき、今回の問題はよい事例になった。今後の公園管理運営に役立ててほしい。

産業行政と新生商工会の役割　各地域商店街の活性化対策

海老沢　進（自民西）

質問　平成16年4月には旧市の2商工会が合併し、西東京商工会が誕生する。これを機会に、例えば地域振興券の発行、市内全商店のポイントカードシステム、アスタにケーブルテレビを設置し、各地のイベントを放映するなど、商工会と連携して思い切った産業振興策を検討できないか。

答弁　商工会とは、定期に懇談を行っているが、今は合併準備で多忙を極めており、現在そうした協議はしていない。

質問　商業振興に関しては、平成13年度に広域商業診断調査を行い、14年度に商店街振興プランを策定した。今年度は実施段階だが、現在の進捗状況は。

答弁　「商業リーダー養成」では2名を都へ派遣、「ホームページの充実」では245事業所が増設、「広域イベント支援」では2カ所に助成、「まちづくり懇談会」では2カ所開催などを行った。

意見　田無駅北口のクリスマスイルミネーションは大勢の人を魅了するが、街路樹と街路灯を新青梅街道まで統一整備すれば、街の中に人の流れができる。商店街活性化については、個々の店と商店会の努力に加え、行政がこうした環境整備面での支援を進めるべきだ。


駅前広場のイルミネーション（田無駅北口）

保谷駅南口再開発　保留床をなぜ市が買取るのか

土井　節子（無所属）

質問　新市建設計画の見直しについて、都と協議中とのことだが、基本的考え方・具体的見直し内容を伺う。合併特例債は枠いっぱい使うのか。また、当初新市建設計画にある生産緑地の買い取り枠100億円は確保されるのか。

答弁　新市建設計画の理念・施策に沿って事業変更をかける。特例債は有効活用したい。生産緑地買い取り枠は総合的に判断する。

保谷駅南口再開発

質問　保谷駅南口再開発の第Ⅱ街区保留床を市が買い取ることの方針転換が示された。田無駅北口再開発ビルの管理会社への税金投入を批判していた市長がなぜ、今回、税金で保留床を買い取るのか。買い取り予定の保留床はビルの2/3の面積を占めるが、その用途も決まっていない。どうするつもりなのか。

答弁　現在、管理会社は困難な問題をクリアして、運営も順調であるとの認識だ。

保谷駅南口は、地下1階を駐輪場に、4・5階の導入施設については3月に示す。

東大農場跡地利用

市と市民が東大と積極的に交流し、市民に溶け込んだ農場施設としていくことが、国や都との今後の交渉においても重要だ。

北原交差点付近

北原交差点の交通問題とせせらぎ公園池改修について

小林　たつや（自民西）

質問　北原交差点の通行が変更されて3年以上たつが、自転車・歩行者の歩道確保がなされていない。旧バス通りを直進できるような改修を含め、市としての対応を伺う。

答弁　都・警視庁・市により検証し、中央分離帯を設置した。歩道橋は余り使われていない。今後はあらゆる観点から話し合っていきたい。北原交差点の一方通行逆走については田無署に指導強化を要請する。

意見　車両のための渋滞解消は成果を上げている。しかし、そのために地元住民が遠回りするようでは本末転倒である。市は市民のために都・警視庁等との話し合いに当たってほしい。

質問　谷戸せせらぎ公園の自由池改修について、前回の質問時、「建設段階に返り対応する」との答弁を受けたが、今後はどうするのか伺う。

答弁　自由池の改修については、早期に利用者の意見をかける。特例債は有効活用したい。生産緑地買い取り枠は総合的に判断する。

保谷駅南口再開発

質問　保谷駅南口再開発の第Ⅱ街区保留床を市が買い取ることの方針転換が示された。田無駅北口再開発ビルの管理会社への税金投入を批判していた市長がなぜ、今回、税金で保留床を買い取るのか。買い取り予定の保留床はビルの2/3の面積を占めるが、その用途も決まっていない。どうするつもりなのか。

答弁　現在、管理会社は困難な問題をクリアして、運営も順調であるとの認識だ。

保谷駅南口は、地下1階を駐輪場に、4・5階の導入施設については3月に示す。

東大農場跡地利用

市と市民が東大と積極的に交流し、市民に溶け込んだ農場施設としていくことが、国や都との今後の交渉においても重要だ。

北原交差点付近

北原交差点の交通問題とせせらぎ公園池改修について

小林　たつや（自民西）

質問　北原交差点の通行が変更されて3年以上たつが、自転車・歩行者の歩道確保がなされていない。旧バス通りを直進できるような改修を含め、市としての対応を伺う。

答弁　都・警視庁・市により検証し、中央分離帯を設置した。歩道橋は余り使われていない。今後はあらゆる観点から話し合っていきたい。北原交差点の一方通行逆走については田無署に指導強化を要請する。

意見　車両のための渋滞解消は成果を上げている。しかし、そのために地元住民が遠回りするようでは本末転倒である。市は市民のために都・警視庁等との話し合いに当たってほしい。

質問　谷戸せせらぎ公園の自由池改修について、前回の質問時、「建設段階に返り対応する」との答弁を受けたが、今後はどうするのか伺う。

答弁　自由池の改修については、早期に利用者の意見をかける。特例債は有効活用したい。生産緑地買い取り枠は総合的に判断する。

保谷駅南口再開発

質問　保谷駅南口再開発の第Ⅱ街区保留床を市が買い取ることの方針転換が示された。田無駅北口再開発ビルの管理会社への税金投入を批判していた市長がなぜ、今回、税金で保留床を買い取るのか。買い取り予定の保留床はビルの2/3の面積を占めるが、その用途も決まっていない。どうするつもりなのか。

答弁　現在、管理会社は困難な問題をクリアして、運営も順調であるとの認識だ。

保谷駅南口は、地下1階を駐輪場に、4・5階の導入施設については3月に示す。

東大農場跡地利用

市と市民が東大と積極的に交流し、市民に溶け込んだ農場施設としていくことが、国や都との今後の交渉においても重要だ。

北原交差点付近

北原交差点の交通問題とせせらぎ公園池改修について

小林　たつや（自民西）

質問　北原交差点の通行が変更されて3年以上たつが、自転車・歩行者の歩道確保がなされていない。旧バス通りを直進できるような改修を含め、市としての対応を伺う。

答弁　都・警視庁・市により検証し、中央分離帯を設置した。歩道橋は余り使われていない。今後はあらゆる観点から話し合っていきたい。北原交差点の一方通行逆走については田無署に指導強化を要請する。

意見　車両のための渋滞解消は成果を上げている。しかし、そのために地元住民が遠回りするようでは本末転倒である。市は市民のために都・警視庁等との話し合いに当たってほしい。

質問　谷戸せせらぎ公園の自由池改修について、前回の質問時、「建設段階に返り対応する」との答弁を受けたが、今後はどうするのか伺う。

答弁　自由池の改修については、早期に利用者の意見をかける。特例債は有効活用したい。生産緑地買い取り枠は総合的に判断する。

保谷駅南口再開発

質問　保谷駅南口再開発の第Ⅱ街区保留床を市が買い取ることの方針転換が示された。田無駅北口再開発ビルの管理会社への税金投入を批判していた市長がなぜ、今回、税金で保留床を買い取るのか。買い取り予定の保留床はビルの2/3の面積を占めるが、その用途も決まっていない。どうするつもりなのか。

答弁　現在、管理会社は困難な問題をクリアして、運営も順調であるとの認識だ。

保谷駅南口は、地下1階を駐輪場に、4・5階の導入施設については3月に示す。

東大農場跡地利用

市と市民が東大と積極的に交流し、市民に溶け込んだ農場施設としていくことが、国や都との今後の交渉においても重要だ。

北原交差点付近

北原交差点の交通問題とせせらぎ公園池改修について

小林　たつや（自民西）

質問　北原交差点の通行が変更されて3年以上たつが、自転車・歩行者の歩道確保がなされていない。旧バス通りを直進できるような改修を含め、市としての対応を伺う。

答弁　都・警視庁・市により検証し、中央分離帯を設置した。歩道橋は余り使われていない。今後はあらゆる観点から話し合っていきたい。北原交差点の一方通行逆走については田無署に指導強化を要請する。

意見　車両のための渋滞解消は成果を上げている。しかし、そのために地元住民が遠回りするようでは本末転倒である。市は市民のために都・警視庁等との話し合いに当たってほしい。

質問　谷戸せせらぎ公園の自由池改修について、前回の質問時、「建設段階に返り対応する」との答弁を受けたが、今後はどうするのか伺う。

答弁　自由池の改修については、早期に利用者の意見

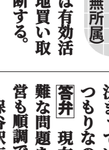
用語の解説

保留床（ほりゅうしょう）

市街地再開発事業によって建築される施設建築物のうち、施行地区内の権利者が従前所有していた土地、建物の権利のかわりとして取得する部分（権利床）を除くもので、施行者が取得した部分をいう。

パワーリハビリ（パワーリハビリテーション）

介護の必要な高齢者が、介護の必要なしに日常生活ができるように、専用のマシンなどを使用してトレーニングをすることを目的とするのではなく、いわば冬眠状態になっている筋肉や神経を負荷の軽いトレーニングによって目覚めさせることを目的とする。



一般質問（5）・常任委員会の主な審査状況

市民参加条例の検証 新市建設計画の見直し

渡辺　嘉津子（生ネ）

市民参加条例が施行されて1年が過ぎた。生活者ネットの市民参加体験者アンケートでは、職員研修の必要や市民公募の選考方法が不透明等の指摘があった。

質問 条例第26条の「条例の検証」は市民参加の第三者機関を設置して行うべき。

答弁 現時点ではその考えはない。

要望 市民参加で策定した条例の検証は行政だけでなく市民と協働で行うべき。

新市建設計画の見直し

質問 見直し内容はいつ市民に示すのか。

答弁 総合計画、初年度の実施計画に集約されるので3月議会の前に議会には説明したい。

質問 今回の見直しで、合併特例債は、保谷駅南口再開発事業には使えるのか。

答弁 実施計画の事業が再開発の保留床に移設できればその部分は対応可能。

要望 合併特例債は緑地確保を最優先に使うべき。

化学物質の汚染対策

化学物質過敏症の未然防止に向け自治体の排出削減が急がれる。

質問 害虫駆除剤、床ワックス、合成洗浄剤等の化学物質使用状況の把握は、所管ごとでなく一元化せよ。

答弁 努力したい。

要望 神経毒性の強い有機リン剤等は使うな。

難病通院にかかる交通費は深刻な問題、軽減策の検討を

保谷　七緒美（生ネ）

移動困難者の外出支援について

質問 難病のため遠くの病院まで通院せざるを得ない人がおり、その交通費が莫大な金額になっている。難病通院者に手当金を支給する事業を武蔵野市でやっているが、本市でも検討しないか。

答弁 研究する。

障害者地域生活支援センターについて

質問 障害者自身が障害者の支援をできるような地域生活支援センターを検討しないか。

答弁 都の地域自立支援生活センター事業は、身体障害者を対象とするものであるが、知的障害者のニーズも多いので、両者を並立して展開させる必要があると認識している。

学習情報センターとしての学校図書館について

質問 学校図書館において、子どもたちの調べ学習をもっと支援すべきと考える。インターネットも活用し、必要とする本や情報を検索して子どもに与えるといったようなことはしているか。

答弁 学校図書館から公立図書館へはインターネットを通じて検索できるようにはなっている。

保谷駅南口再開発は情報公開とパブコメの実施を

森下　典子（生ネ）

保谷駅南口再開発事業

質問 第Ⅱ街区に公共施設を配置する方針転換は新たな公費負担となることから、慎重でなければならない。転換に至る幾つかの選択肢に基づいた財政負担のシミュレーションを、議会だけでなく市民にも示せ。

答弁 3月の特別会計設置に向け全体を明らかにする。

質問 再開発のような後年度に大きな負担をもたらす公共事業の決定過程にこそ市民参加が重要。公共施設のあり方も含め、市民参加の検討委員会の設置を。

答弁 再開発はあくまでも地権者の協力を求めるもの。情報をよりよく出していく行政の責務はあるが、市民参加は難しい。

都営住宅跡地の活用

質問 新町、住吉町の都住跡地の公園化に向けた課題は何か。住民への説明責任を果たすよう都に求めるか。

答弁 市の緑の保全に大きく関与してくるので、的確な対応をしたい。将来の公園化については、現時点では明確なお答えはできない。説明責任については、機会を見て都に要望してみたい。

特別支援教育への市民参加

質問 市の検討機関に障がい児の保護者、通常学級の教師、保護者の参加を。

答弁 保護者、市民参加の検討機関をぜひ設置したい。

常任委員会の主な審査状況

企画総務委員会

「手数料条例の一部を改正する条例」

【説明】 住民票、印鑑証明、課税・非課税証明など証明等交付手数料、閲覧手数料及び許認可手数料の一部を改正するもの。

【質疑応答】 改正は、主に現行150円の手数料を200円に改定するものだが、影響額の内訳としては、証明書等交付手数料が1千500万円増、閲覧手数料が200万円増となる見込みで、件数の多い住民票、印鑑証明、課税・非課税証明が大きな割合を占める。

【結果】 賛成全員で可決

「一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」

【説明】 東京都人事委員会勧告の趣旨を踏まえ、一般職の職員の給料を月額平均2千922円、期末手当を年間0・25カ月引き下げ、交通機関利用者の通勤手当を6カ月定期券等の価格による年2回の一括支給とする。今回の給与改定により職員1人当たり平均年額15万9千円ほどの減額になる。

【質疑応答】 今回の給与改定に伴う影響額の総額は約2億円である。

【結果】 賛成全員で可決

文教委員会

「市立中学校において学校給食法に基づく完全給食の実施を求める請願」

「市立中学校において学校給食法にのっとった給食の実施を求める請願」

【説明】 中学校給食については、平成14年8月から弁当外注方式を2校で試行し、平成15年9月から残る7校でも始めたばかり。当面現在の方式を続け、検証していきたい。中学校給食は、青嵐中学校だけなく、全体の問題として検討していく。

【質疑応答】 青嵐中学校の建てかえでは、将来的に多目的室を学校給食用に転用可能である。

【結果】 「早急に全体計画を策定する中で願意に沿うよう努力されたい」との意見を付して趣旨採択

「西東京市教育計画（教育プラン21）策定に際し一般市民の意見表明の機会を求める陳情」

【説明】 市民参加条例に基づく手続として教育計画策定懇談会を設置しており、その意見交換の中で、市民代表として議論していることから、改めて市民の意見交換会は必要ないという結論となった。

【質疑応答】 今回のような陳情が出されたからといって市民との協力関係ができていないということではないと考える。市民参加条例に定める手続として懇談会を設置しており、市民との協働により検討を進めていると理解している。

懇談会で市民説明会を行うのか、時期をどうするのかについては、懇談会の意見を尊重するが、まだそこまで協議が進んでいない。

【結果】 賛成少数で不採択

厚生委員会

「児童保育費用徴収条例の一部を改正する条例」

【説明】 子ども福祉審議会に諮問し得た答申に基づき、保育料の見直しを行うもの。改定は2カ年をかけて行うため、初年度は半分、改定率で9.2％、1人当たり月平均約1千290円の増となる。

【質疑応答】 パブリックコメントは行わなかったが、審議には保護者代表も加わっていただいた。

子育て支援には、事業基盤整備と経済的負担の緩和の2通りがあると思うが、全子育て家庭に対するサービス基盤としてさまざまな基盤整備を図ることが第一だと考えている。

入所基準については見直しが必要と考えている。

保育サービスにおける公費負担のあり方は、子育て家庭間の受益と負担の公平性を考慮しながら検討する必要がある。

【意見】 パブリックコメントは行うべきだ。出生率を引き上げようというときに保育料の値上げはどうか。

公設民営形式の展開が今後重要になってくるだろう。

経過措置について、2年では負担感が大きい。5年ないし3年としなければ、理解は得られないのでは。

現状で市民サービスの充実を図るためには一定程度の料金見直しは妥当。1割に満たない負担増は、待機児その他の私立等に入所されている方々とのバランスを考えれば妥当な水準。

【結果】 経過措置を2年から3年に1年延長し、各年度の保育料改定額との差額をほぼ均等化する議案訂正が行われ、賛成多数で可決

建設環境委員会

「公害苦情処理制度活用不備に関する陳情」

【趣旨】 準住居地域における飲食店の深夜営業は、周辺住環境の悪化の要因となっている。行政勧告制度の適用について議会審議を。

【質疑応答】 行政勧告制度は法律上存在しないが、東京都条例に基づき、市長が必要に応じて指導勧告等を行うことが可能か、今後も調査・研究していく。ただし、民民間の争いでもあるので、あくまでも当事者間での話し合いによる解決が好ましい。市としてはその側面からの支援を行っているところであり、現状においては精いっぱいの対応であると考えている。

【結果】 賛成少数で不採択

「東伏見駅（北口・南口）周辺の自転車駐車場の一時利用料金の値下げと自転車置き場に屋根をつけることなどを求める陳情」

【趣旨】 東伏見駅周辺の有料駐輪場の一時利用料金について、現行150円を100円にし、屋根を設置することを求める。

【質疑応答】 整備時期、施設内容等から旧両市間に格差が生じている形となっている。財団法人自転車整備センターが管理・運営を行っていることから、現在協議中である。定期利用料金までを一括して改定するのは難しいが、一時利用料金については、近い将来値下げできるのではないかという回答を得ている。

【結果】 「条件整備を進める中で、願意に沿うよう努力されたい」との意見を付して趣旨採択

写真は、けやき小学校新校舎

特別委員会の主な審査状況

決算特別委員会の主な審査状況

◆一般会計決算

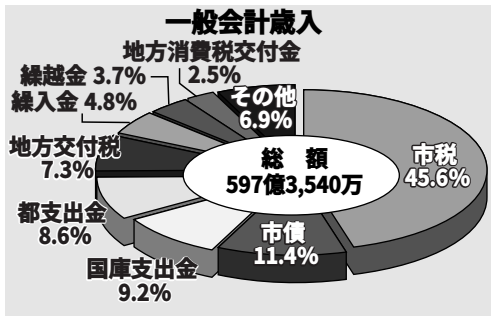
決算全般について

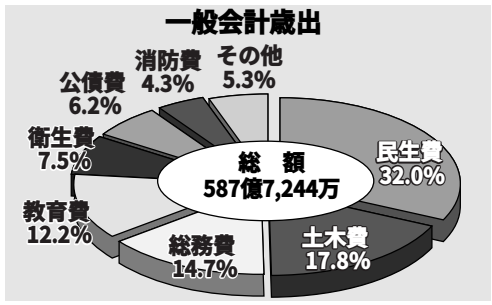
【質問】14年度決算の収支状況について、どう評価しているのか。

【答弁】経費削減等に努め、実質的な収支において26市中4位の黒字を確保できた。しかし、経常収支比率が悪化しているので、歳入の確保と歳出の削減により健全化を図っていきたい。国の三位一体改革、都の財政再建計画、交付税問題等課題を踏まえつつ、行政水準を維持できるよう16年度予算の編成作業に入っていきたい。

【質問】調整交付金が2億5千万円増になった理由と使い道について。

【答弁】13、14年度に2市分交付されるか不明だったため、慎重に見積もった。福祉、教育、環境等ソフトの施策の一般財源を補完して行政水準の維持向上を図る。





平成14年度各会計の決算概要

会計名		収入済額	支出済額	収入支出差引額
一般会計		597億3,541万円	587億7,244万円	9億6,297万円
特別会計	国民健康保険	127億5,913万円	123億8,261万円	3億7,652万円
	下水道事業	46億2,550万円	45億7,449万円	5,101万円
	受託水道事業	16億1,132万円	16億1,132万円	—
	中小企業従業員退職金等共済事業	8,643万円	7,280万円	1,363万円
	老人保健（医療）	133億9,157万円	131億7,293万円	2億1,864万円
	駐車場事業	2億3,352万円	2億　166万円	3,186万円
	介護保険	64億6,433万円	64億　185万円	6,248万円
計		989億　721万円	971億9,010万円	17億1,711万円

予算科目の説明		
歳入	市債	市が長期に借り入れたお金
	繰入金	市の貯金（基金）から繰り入れたお金
歳出	民生費	高齢者･障害者などへの福祉にかかる費用
	土木費	道路･公園の整備などにかかる費用
	総務費	市役所の運営、財産管理などにかかる費用
	衛生費	保健衛生関係、ごみ収集、公害対策などにかかる費用
	公債費	市債（長期の借金）の返済にかかる費用

合併との関係について

【質問】合併効果について監査意見書に書かれているが具体的に聞きたい。

【答弁】合併効果として、まず国・都からの財政支援として総額62億7千700万円、歳出面の削減効果としては人件費等で9億6千700万円。これらを活用してのまちづくりの充実としては、新市建設計画に掲げる53事業のうち42事業について実施済みまたは着手済みとなっている。

【質問】新市建設計画の財政計画との差異は。

【答弁】行財政制度の改正や社会経済環境の変化、事業の進捗状況によって差異が出ている。歳入でのマイナスは市税9億9千500万円、地方交付税は臨時財政対策債が地方債に振りかえられている関係で17億2千500万円、都の支出金19億9千400万円、繰越金22億400万円。歳出でのマイナスは人件費13億9千100万円、投資的経費56億4千400万円。歳出面のプラスは積立金が36億円となっている。

外出支援サービスについて

【質問】不用額が出ているにもかかわらず、移送サービスをしてほしいという請願も出ている。この関係は。

【答弁】外出支援については、民間で幾つかの形で行われている。介護保険による実施事業者が市内にできてくればということがあるが、今後のあり方については検討していきたい。

国際化推進行事での保育実施について

【質問】予算が執行されていないが、前向きな検討を。

【答弁】男女平等のフォーラムで保育を実施しているが、実際に利用される方が少ない。全庁的には会議での保育実施については課題として検討したい。

保谷駅南口再開発事業について

【質問】事務所を構えてどういう成果が上がったのか。

【答弁】関係権利者との交渉は夜間になることが多く、打ち合わせの場所としている。今後計画の位置づけを明確にし、事業の進捗を図りたい。



教育関係予算について

【質問】教育用コンピュータについては総額で2億円を超えているが、使い勝手が悪くてほとんど使われていないと聞く。現場の声を聞いて支援を。

【答弁】平成18年までの年次計画で小中学校パソコン教室に1人1台を計画している。情報教育推進委員会を立ち上げ、学校の先生も参加して研究しているので、この委員会での検討等を踏まえて整備したい。

【質問】学校図書費についてももっと充実すべきではないか。本が好きな子どもを育てることが重要だ。

【答弁】図書費は交付税措置され、小学校は91％増、中学校は37％増の予算化をしており、近隣市に比べても充実している。

【質問】教育情報センターの職員体制は。子どもたちが情報を得るのにスローダウンするというのはどういうことなのか。

【答弁】職員体制は情報教育専門員の嘱託員と指導課と学務課の職員である。有害情報の排除と個人情報の保護、学校間の情報共有化ということでセンターが必要である。改善ができるよう体制を整えたい。

【結果】賛成多数で認定

◆国民健康保険特別会計決算

【質問】レセプト点検の人員をふやして大変効果が上がっているようだが、今後の対応は。また市民の自己点検のPRはしているのか。

【答弁】14年度の点検員は5名で、15年度に1名増員した。加入者の増により点検枚数がふえているが、国でも進める電子化について、企画部とも協議しながら検討していきたい。市民へのPRについては、国保の特集号を全戸配布する際の記事に含めていきたい。

【結果】賛成多数で認定

◆下水道事業特別会計決算

【質問】借入金の借りかえに積極的に努力したのか。

【答弁】借りかえについては、特別会計としての性質上、下水道使用料を上げるなど自助努力をしなければならないという条件等があり、今回はできなかった。

【意見】下水道会計は繰入金頼みで、バランスシート上異常な状況。財政計画等を提案しながら、審議会に諮問していくような積極的な打開策が必要だ。

【結果】賛成多数で認定

◆受託水道事業特別会計決算

【結果】全員賛成で認定

◆中小企業従業員退職金等共済事業特別会計決算

【結果】全員賛成で認定

◆老人保健（医療）特別会計決算

【結果】全員賛成で認定

◆駐車場事業特別会計決算

【結果】全員賛成で認定

◆介護保険特別会計決算

【結果】全員賛成で認定

予算特別委員会の主な審査状況

◆一般会計補正予算（第3号）

（賛成多数　可決）

保谷駅南口再開発事業費について

【質問】第Ⅱ街区の保留床に公益施設を導入するというが、公共施設配置計画との整合性等、庁内検討は行われたのか。保留床買取資金はどう捻出するのか。

【答弁】16年度予算編成の中で公共施設適正配置との整合性を図りながら方針を出していく。資金はスクラップ・アンド・ビルドにより捻出する。

【質問】営業補償は、みずからの意思で営業をやめる場合にも行うのか。市が公社から買い戻したときに損失が出た場合、その責任は。

【答弁】営業補償は、やむを得ない場合に行う。損失は市の負担となる。

【質問】都市計画変更すら決定していないのに、先行取得するのは納得しがたい。

【答弁】平成12年12月に都市計画決定を受けており、この決定の範囲内と考える。

【質問】保谷駅は練馬区民の利用者も多いが、練馬区長とは協議したのか。

【答弁】練馬区の事情もあるが、区長も関心を示していた。

【質問】公益施設の面積が、4千㎡とかなり広いが、市長の考えは。


ミニSLで楽しむ親子（市民まつり）

【答弁】市民が有効利用できる広さを確保した。

【質問】首都圏不燃公社に市が期待したものは何か。

【答弁】都内で大規模再開発に実績があり、マンパワー、ノウハウなど事業全体の円滑な推進を期待する。

【質問】合併した際、市長は田無駅北口再開発に対して民間会社に市が投資して商業床を取得させ、進めていくことは景気の変動から危険であると言っていた。ここに来て保谷駅南口の床を取得し、公益施設を配置するというが、アスタ西東京に対する今日の市長の認識を聞きたい。

【答弁】一般論としては考えは変わらないが、田無駅北口開発の手法は当時の状況下においては妥当であったという理解はできる。

その他

【質問】人件費の補正が多く、今年は4回の人事異動があったようだが、異動の基本的な考え方は。

【答弁】4月、7月に定例的に行う。在職4～5年を対象とするのが目安である。

【質問】市民から市の職員給与が都より高いとの声があったが、給与の考え方は。

【答弁】市の給料表は都に準じている。合併前に2市の給料表に差があったのを徐々に是正している。

【質問】保育料の保護者負担金の返還の経緯について。

【答弁】複数の源泉徴収がある場合、または確定申告により所得税が変わった場合の保育料算定について、保護者からの問い合わせがあったことによる。

◆介護保険特別会計補正予算（第2号）

（全員賛成　可決）

西東京市 議会だより

議決結果（議案・請願・陳情）・意見書

12月定例会　議案の議決結果一覧

○賛成　×反対　―退席

件名＼会派（　）は所属議員数		西東京市議会公明党(7)	日本共産党西東京市議団(6)	自由民主党西東京市議団(6)	民主党西東京(5)	自由民主党(5)	生活者ネットワーク(3)	市民クラブ(2)	無所属・無所属クラブ(1)	無所属・無所属市民の会(1)	結果
決算	●一般会計 ●国民健康保険特別会計 ●下水道事業特別会計	○	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
決算	●受託水道事業特別会計 ●中小企業従業員退職金等共済事業特別会計 ●老人保健(医療)特別会計 ●駐車場事業特別会計 ●介護保険特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
補正予算	●一般会計予算(第3号)	○	×	○	○	○	×	×	×	×	可決
補正予算	●介護保険特別会計予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
改正条例	●組織条例 ●市長等の給与等に関する条例 ●教育委員会教育長の給与等に関する条例 ●市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例 ●国民健康保険条例 ●休日診療所設置条例 ●道路占用料等徴収条例 ●市立公園条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
改正条例	●市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
改正条例	●手数料条例 ●児童保育費用徴収条例	○	×	○	○	○	○	○	×	○	可決
改正条例	●ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例	○	×	○	―	○	×	○	×	×	可決
改正条例	●一般職の職員の給与に関する条例	○	―	○	○	○	○	○	○	○	可決
廃止条例	●体育館条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	●損害賠償の額の決定について ●損害賠償請求事件に関する和解について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	●一般会計補正予算(第2号)の専決処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議員提出議案	●障害者ホームヘルプサービスの利用増加に見合う予算確保を求める意見書 ●国から地方への税源移譲に関する意見書 ●DV防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律)の改正と社会環境整備を求める意見書 ●中小企業・商店街対策の推進及び中小企業向け金融対策に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案	●地方警察官の抜本的な増員を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決

意見書 関係機関へ

中小企業・商店街対策の推進及び中小企業向け金融対策に関する意見書

厳しい不況は、中小企業の経営者、従業員や家族の生活に打撃を与えています。大企業に比べると足腰が弱い中小企業は、金融機関からの貸し渋り、貸しはがし、担保価値の下落などによって深刻な経営危機に追い込まれています。

日本経済における中小企業の重要な役割を再認識し、再生可能な中小企業を倒産に追い込んだり、健全な中小企業を連鎖倒産に巻き込んだりすることを回避し、中小企業が現下の厳しい経済環境から脱却し、活力ある発展を遂げられるよう、抜本的な対策を講じることが不可欠です。

よって西東京市議会は、中小企業予算の抜本的拡充、商店街・中小小売店の活性化に資する対策の充実・強化及び貸し渋り、貸しはがし対策の強化、政府系金融機関における個人保証が必要のない制度への変更を図る措置の実施を強く求めるものです。

【提出先】　内閣総理大臣、経済産業大臣、総務大臣、財務大臣

障害者ホームヘルプサービスの利用増加に見合う予算確保を求める意見書

【提出先】　内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣

国から地方への税源移譲に関する意見書

【提出先】　内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣

地方警察官の抜本的な増員を求める意見書

【提出先】　内閣総理大臣、国家公安委員会委員長

DV防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律)の改正と社会環境整備を求める意見書

【提出先】　内閣総理大臣、法務大臣、厚生労働大臣

請願・陳情の結果

（　）は付託委員会

採択されたもの

○市立中学校において学校給食法に基づく完全給食の実施を求める請願〈趣旨採択〉（文教）

○市立中学校において学校給食法にのっとった給食の実施を求める請願〈趣旨採択〉（文教）

○小学校の副読本に「非核・平和都市宣言」「市民憲章」を掲載するよう求める陳情（文教）

○東伏見駅(北口・南口)周辺の自転車駐車場の一時利用料金の値下げと自転車置き場に屋根をつけることなどを求める陳情〈趣旨採択〉（建設環境）

不採択となったもの

○イラクへの自衛隊派遣の中止を求める意見書に関する陳情（企画総務）

○戦闘状態の続くイラクへの自衛隊派遣を見合わせることを求める意見書に関する陳情（企画総務）

○教育基本法を守り、生かすことを求める請願（文教）

○「西東京市教育計画（教育プラン21）」策定に際し一般市民の意見表明の機会を求める陳情（文教）

○保育所保育料の見直しに関する請願（厚生）

○公害苦情処理制度活用不備に関する陳情（建設環境）

○保谷駅南口再開発用地先行取得に反対する陳情（駅周辺再開発等）

継続審査となったもの

○中央防災会議に浜岡原発震災専門調査会の設置を求める意見書に関する陳情（企画総務）

○「ハンディキャブけやき号」に関する請願（厚生）

○(仮称)こどもの総合支援センターにおける障害児支援の陳情（厚生）

○けやき学童クラブの定員80名を堅持すること、それに伴いけやき学童クラブが大幅に定員超過した場合には西原北学童クラブを継続活用することを求める陳情（厚生）

○大規模学童クラブ解消を求める陳情（厚生）

○住吉町六丁目都営住宅跡地利用に関する陳情（建設環境）

取り下げ

○新体育館使用に関する陳情

声の議会報の裏方さん紹介



朗読ボランティアの皆さん

― おわびと訂正 ―

市議会だより13号(11月6日発行)の7面「基本構想審査特別委員会の主な審査状況」において、「外国人、子ども、障害者の意向の反映は」との質問に対して「意識調査を実施し、この中に外国人も含まれ、また18歳、19歳の協力も得ている。」との答弁は、「意識調査を実施した。また18歳、19歳の協力も得ている。」の誤りでした。したがって外国人の方は含まれておりません。おわびして訂正します。

編集後記

じっくりと春を準備する

「冬来たりなば春遠からじ」という言葉がある。寒さ厳しい冬の後、暖かい春がやってくるということであろう。

先日、通りかかった住宅街の片隅で、梅の木に何気なく目がとまった。遠くから見ると、寒風の中寒寒と耐え忍んでいるようだった。だが近づいてよく見ると、枝々の先端に赤みを帯びた小さなつぼみが、そこここについていた。

まだ硬いこの「つぼみ」が、移りゆく季節の温もりの中で、日一日と膨らみを増していくのだろう。そして花々を咲かせ、独特の香りを醸し出すのであろう。寒風吹きすさぶこの時から春に備える植物たちの生命力に感動を新たにしたのである。

西東京市政にも春を呼ぼう。



（T）

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています